

第9回「日本語大賞」

テーマ「ちょっと気になる日本語」

小学生の部 優秀賞 受賞作品

「大安うりの神さま」

兵庫県
学校法人仁川学院小学校
小学3年 原野 蓉子

特定非営利活動法人 日本語検定委員会

「大安うりの神さま」

学校法人仁川学院小学校 小学三年

原野 蓉子

夏休みのある日、お母さんと電車にのっていた。すると、前にたっていた中学生ぐらいのお兄さんたちが「神すぎるね。」「まじ神対応だね。」と話していた。家にかえってなにげなくテレビをみていると神さまがいっぱい登場していた。神アプリ神わざ……。

神対応という言葉を実用日本語表現辞典でしらべてみた。おどろき、感心するほどの対応のことらしい。ついでに反対語は、塩対応というらしい。

わたしがおもっている神さまは、手がとどかないぐらいすてきな方なのにどうも神さまが安うりされている気がする。

きつと神さまだって、「わたしはそんなこと言わないよ。」と、つぶやいている気もする。

それに、反対語は塩ではなく、あくまといってもいいのに……。さい高の対応、さい低の対応という言葉があるのに……。わたしは、大きくなったら神対応ができる大人にはなりたいが、ちよつとおかしな日本語を使う大人には、なりたくないと思う。